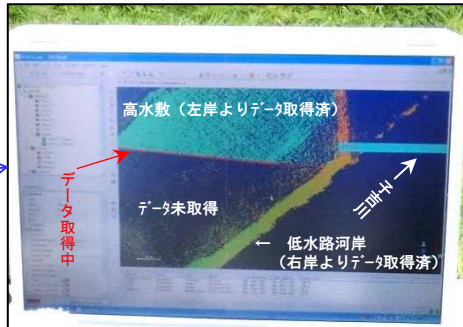


- 施工箇所を送電線が横断していることから、レーザースキャナー測量により地形データを取得。
- 当該工事の施工者(長田建設)は、ICT活用の本格的導入を視野に入れ、技術活用ノウハウを取得し、その効果を実感。



LS(レーザースキャナー)による
施工前測量状況

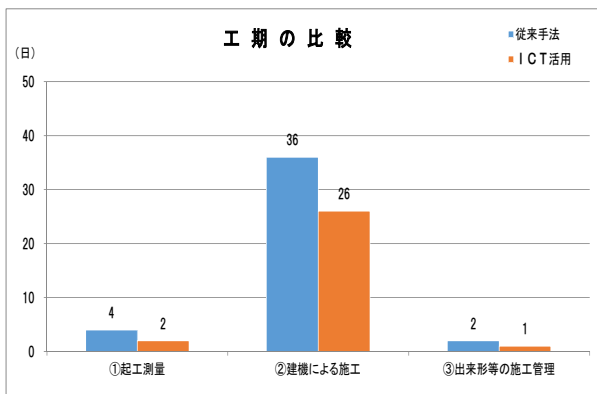


3Dデータ取得状況(PC画面)

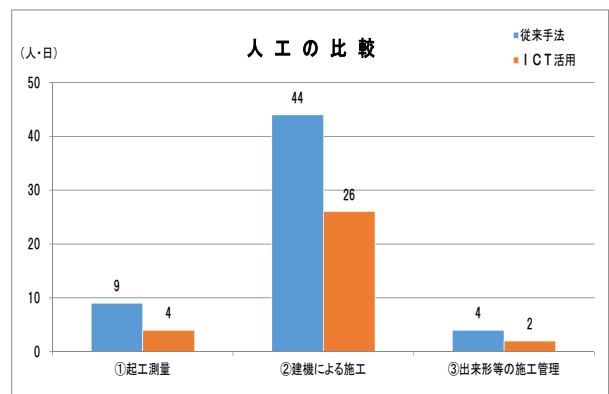


ICTノウハウの施工状況
(掘削法面整形)

ICT土工と従来手法との比較



計 13日短縮 (42日⇒29日)



計 25人・日短縮 (57人・日⇒32人・日)

現場の声(長田建設)

- 工期:「LS測量により、起工測量の所要日数が4日から2日になる等、短縮出来た。」
- 安全:「掘削時の補助作業員が不要となり、接触事故の防止に繋がる。」
- 施工:「経験の浅いオペレーターでも熟練者と同等の仕上がりが確保され、若手オペレーターの育成に繋がる。」
「初めは、ICT建機のコントロールパネル操作に戸惑ったが、すぐに慣れ、効率よく作業できるようになった。」
- 人員:「施工前、施工中の丁張り設置が不要のため大幅に人工が削減された。」